

地域で見守る 子育て! 子育て! 24

おかあさん、おとうさんになるということ…

未成年の飲酒は、法律違反であるのはもちろんですが、未成年は飲酒による健康被害を受けやすく、子どもたちの健やかな成長にも害となります。

大人が飲酒の害を知り、未成年者の飲酒を止めさせる必要があります。



《未成年者の飲酒による影響》

①脳の神経細胞への影響

脳が未完成の未成年者では、脳細胞への悪影響が起りやすく、学校生活への不適応、学業不振などにつながる可能性があります。

②未成年者はアルコールを分解する酵素の働きが未発達です。

過度の飲酒をした場合、急性アルコール中毒になる危

険性が大人に比べ高くなります。

③アルコール依存症になりやすくなります。

未成年者は心身が未発達なため適度な飲酒をするという判断力もなく、自己規制がききません。未成年のときから飲酒すると次第に飲酒量が増え、飲まないと落ち着かなくなってきます。そして大量のお酒を毎日飲むようになり、アルコール依存症になってしまいます。

飲酒は、楽しみの一つであり、飲酒マナーと飲酒量を守る必要があります。

中学生・高校生の飲酒場面は、『冠婚葬祭、家族と一緒に』といった大人がいる場面も多く見られます。

マナーや規則を守ることでできる子どもたち、

健康な子どもたちを地域で育てていきましょう!



問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871

まちの話題

T O W N T O P I C

12月16日(木) 不審者対応避難訓練

高取小学校で、警察の方に来ていただき、不審者が校内に侵入してきた事を想定した防犯訓練を実施しました。先生方は、不審者対応班と児童を運動場に避難誘導する班に分かれて対応しました。訓練の後、警察の方から講評をいただき児童は真剣に話を聞いていました。いつ起こるか分からない事件や事故に対して、冷静に行動できるように備えておく事の大切さを学びました。



12月17日(金) もちつき大会

吉浜小学校で、年末恒例のもちつき大会を開催しました。石臼と杵を使った昔ながらのもちつきで、「ヨイショー、ヨイショー」という威勢のいい掛け声に合わせて順番にもちをつきました。つきあがったもちは、丸く形を整えて「あんこ」「きなこ」「大根おろし」の3種類に味付けされ、おいしいもちをほおぼりながら楽しいひとときを過ごしました。

